

(食料品)

中国醤油醸造協同組合

当月の出荷量は前月比+11.5%、前年同月比+3.6%。売上高は前月比+11.1%、前年同月比+13.3%となった。

(繊維工業)

●繊維工業

一般財団法人広島県織物工業会

売上高がやや減少傾向にある中でコストは上昇している。また、借入金の返済等により資金繰りが難しい状況にある。

山陽テクノ協同組合

特に大きい変化はない。小ロットの受注に対して現場から対応しにくいとの声がある

(木材・木製品)

●木材・木製品

広島県木材協同組合連合会

【全国】

10月の着工戸数は69,669戸で前年同月比▲2.9%、季節調整済年率換算値では779千戸で前年同月比▲2.7%となった。利用関係別では、持家は19,705戸で前年同月比+9.0%、貸家は29,541戸で前年同月比▲6.7%、分譲住宅は19,577戸で前年同月比▲9.3%、また、木造住宅は41,750戸で前年同月比+3.0%であった。住宅着工動向の前年同月比は、持家が35ヵ月ぶりの増加となり、貸家が再びの減少、分譲住宅が6ヵ月連続の減少となった。木造住宅については2ヵ月連続の増加となっている。

【広島県】

10月の着工戸数は1,194戸で前年同月比▲9.3%、うち持家は381戸で+16.5%、貸家は470戸で▲26.3%、分譲は341戸で▲2.3%となり、県全体の住宅着工戸数の前年同月比は2ヵ月連続で減少し、木材需要の見通しは厳しい状況にある。

木材価格は、木材需要の多くを占める住宅着工の低迷が長期化しているため、価格の弱基調が続いている。主な要因としては、新築住宅価格の上昇に伴い、価格抑制策として住宅床面積の小型化、平屋住宅の増加や中古住宅の買い取り再販が進むとともに、住宅の新築・改修の需要低迷によりプレカット工場の稼働が盛り上がりせず、米松や国産材製品が値下がりしていることが挙げられる。

福山木材協同組合

売上等が上昇傾向にあるが、長続きはしないと考えている。

(化学・ゴム)

●工業用ゴム製品

中国ゴム工業協同組合

売上等に大きな変化はない。安全、品質、原価低減の順に優先順位をつけて事業を推進していきたい。また、今後ますます従業員の待遇や福利厚生をより良くする必要がある。

●プラスチック製品製造業

広島県プラスチック工業会

- ・昨今の気候不順の影響で一般消費財や生活用品関連の需要状況が予測しづらい
- ・特に広島地区における自動車メーカーの生産台数が減少しており、部品の受注量低減により生産量や売上が低迷している

(窯業・土石製品)

●窯業・土石製品

広島地区生コンクリート協同組合

- ・出荷状況
 - 令和6年11月 2,380 m³ (前年比75.5%)
 - 令和6年10月 2,620 m³
 - 令和5年10月 2,854 m³
- ・令和6年度想定数量
700,000 m³

(鉄鋼・金属製品)

●鉄鋼

靱鉄鋼協同組合連合会

売上等は減少傾向にある。期末に向けて、状況の好転を望む。

●一般機械

(一般機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合

売上は、前月比▲20.3%、前年同月比+7.7%となった。スポット受注や出荷時期の変更が主な要因となっている。

(電気機械器具)

広島県東部機械金属工業協同組合(電気機械器具)

売上は前月比+1%、前年同月比▲15%となった。機種により売上にバラツキがあるため一部在庫不足に陥っている。

(輸送用機器)

●輸送用機械器具(自動車)

東友会協同組合

マツダの生産は欧州とアジア向けが低調となり、米国市場向けでは在庫調整が行われた。

(11月度自動車国内販売動向)

全需は390千台で、前年同月比▲5.2%と減少。(登録車は▲2.0%、軽自動車は▲10.5%)、マツダ車は▲3.2%と2ヶ月連続での減少(内訳は、登録車▲7.1%(9.8千台)、軽自動車+12.0%(3.0千台))となった。

(10月度自動車海外販売動向)

アメリカの全需は1,337千台で、前年同月比+10.5%と増加。マツダは+58.7%と4ヶ月連続での増加となった。

欧州の全需は1,167千台で、前年同月比+3.7%と6ヶ月ぶりに増加。マツダは▲12.9%と4ヶ月連続での減少となった。

中国の全需は2,683千台で、前年同月比▲5.9%と7ヶ月ぶりに減少。マツダは▲26.8%と6ヶ月連続での減少となった。

マツダの10月の海外販売は、北米が大幅に増え、欧州、アジアが減少になったが、合計台数は94.2千台、前年同月比+14.8%と増加となった。

(10月度自動車輸出・生産動向)

マツダの輸出台数は、欧州向けの低迷に加えて、北米の在庫調整が加わり、輸出全体では前年同月比▲11.5%の減少となった。また、国内生産台数は生産調整が続き、前年同月比で▲11.1%の減少となった。

●輸送用機械器具(造船)

中国地区造船協議会

県内、2,500総トン以上の令和6年10月の船舶建造許可実績は3隻、60,190総トンであった。(前月3隻201,100総トン、前年同月3隻144,900総トン)なお、内訳は、輸出船が3隻で貨物船であった。

(一社)中国小型船舶工業会

中小造船業については、前月と大きな変化は無い。

(卸売業)

●卸売業(総合)

協同組合広島総合卸センター

・生鮮加工業者は、天候による影響で生鮮食料品の価格が上昇したことにより、仕入価格の高騰や仕入の不安定化などが発生している。繊維業者はしばらく冬物の需要が高まり、若干上向きの傾向にあるが、今年度を通じて見ると、いまだ苦戦中である

・各種商品の価格上昇による消費者の買控え等の影響を最も大きく受けている小売業者は、事業縮小や資産売却の動きが再燃し始めている。一部の事業者は、売却(M&A)を模索しているが、なかなか買い手は見つかっていない様子である

●卸売業(電設資材)

広島県電設資材卸業協同組合

官公案件の見積件数、民間持家住宅が前年割れ。民間の非住宅が前年並みの一方で、民間マンション案件は引続き堅調に推移している。

●卸売業（畳・敷物）

広島県藁製品商業協同組合

当月の実績は、びんご特選では前年比83.3%、JAS表が前年比89.9%となった。

（小売業）

●各種商品小売業

広島生鮮三品連絡協議会

- ・11月度中央市場水産部の取扱高は、若干の減少となる見込み。消費者の買い控え等が続く中、猛暑だった影響で牡蠣・ナマコ等の入荷が遅れ商材不足となったことが主な原因と思われる
- ・11月度中央市場青果部の取扱高については、前年比で121.3%と今年度の最高数値であるが、単価上昇によるものであり、入荷量としては前年比94%である。市場に物が少なく、仕入価格も高値で推移している状況
- ・11月も天候不順の影響により、野菜の生育状況は低調で高値推移は12月にも続く見通し。また、物価高騰への対応が追いついていない事業者が大半である

協同組合三次ショッピングセンター

店舗リニューアル1周年記念のイベントやセールを実施したため、全体的に売上は順調であったが、毎月仕入れ値の上昇で商品値上げが続いている。

●家庭用電気機械器具小売

広島県電器商業組合

令和6年11月度販売実績94%（前年同月比）。AV商品94%、白物商品94%、薄型テレビ105%（内有機EL54%）、DVD84%、冷蔵庫100%、洗濯機86%、IHクッキングヒーター115%、エコキュート90%、エアコン105%、炊飯器93%、電子レンジ88%、掃除機86%。

地域に無くてはならないインフラとしての存在価値を示すことが重要。オール電化・リフォーム等の総合的な提案力が求められてくると考える。

●商店街

呉本通商店街振興組合

- ・11月10日に「くれ食の祭典」が、呉商工会議所創立100周年プレ事業・海上自衛隊呉地方隊創設70周年記念事業として開催された。呉の恒例の食イベントで、呉発祥の「肉じゃが」「がんすうどん」「呉海自カレー」などの地元名産や、各広場で国際色豊かな料理が振る舞われた
- ・11月4日～10日に「次世代モビリティ導入に向けた交通社会実験（自動運転EVバスの運行）」が地区内の商店街を通るルートにて実施され、先着順ではあったが、多数の人が乗車された。各種イベント実施時には相応の集客があり、いかに商店街への誘導・活性化に繋げるかが課題である

（サービス業）

●自動車整備業

広島市自動車整備団地協同組合

- ・車検台数は、前月比▲12.9%、前年比▲11.9%
- ・車検場収入は、前月比▲12.7%、前年比▲13.2%
- ・重量税・登録印紙税の売上は、前月比▲21.3%、前年比▲25.7%

●広告業

広島県広告美術協同組合連合会

県内で複数の大型案件があるため、売上等は上昇傾向にある。これから閑散期に入るが、年末の駆け込み受注に期待したい。

●警備業

広島県警備業協同組合

深刻な人手不足に悩まされている。

（建設業）

●工事業

広島県室内装飾事業協同組合

カーテン、敷物、壁装クロス等の3品目合計について、11月度は前月比▲22.9%、前年同月比+47.6%となった。昨年11月が非常に低調な実績だったため、前年同月比は大きく増加した。今年度の残り4か月については、売上等が増加する要素が少なく、現状とあまり変化がない状態で着地する見込み。

福山地区電気工事業協同組合

昨年度は下期に官庁関係からの受注増加があったため、当月分の受付件数は612件、前年同月比58%と大幅な減少となった。

神辺建設業協同組合

業況はやや回復傾向にある。

(運輸業)

●道路貨物運送業

広島東部トラック運送事業協同組合

- ・当月の売上高は、前月比が減少、前年同月比が増加となった。
- ・軽油価格は、原油価格が下落し政府による元売り会社への補助金が減額されたため値上がりとなった。

松永地区トラック事業協同組合

- ・11月の売上高は、前月比、前年同月比ともに大きな変化はなかった。
- ・燃料価格の上昇が業界の一番の問題点である。政府が石油元売り会社へ助成金を出しているが、下がる見込みは無い

●水運業

全国内航タンカー海運組合中国支部

- ・船員の高齢化が進み船員不足である
- ・若年船員が育たない
- ・運賃や用船料の改善がみられない

(その他)

●不動産業

広島県不動産評価システム協同組合

- ・前月比と前年同月比ともに、大きな変化はない。今年度全体では固定資産評価の公的評価作業が無いため売上等は減少する見込み
- ・不動産市場については、住宅地、商業地ともに売買が減少している。材料費の高騰に加えて、戸建住宅、共同住宅の建築等が減少しており、マンション販売についても、新築マンションの価格高騰により、売れ行きが低調になってきている。また、中古マンションについては販売価格が高止まりしている